

## ～臨床情報・検体の研究利用に関するお知らせ～

『研究課題名 リバース型人工肩関節全置換術における術後成績の検討』

研究機関名 東邦大学医療センター大橋病院

研究責任者 整形外科 職位・氏名 教授 池上 博泰

### 【試料・情報の利用目的】

取得した試料・情報は リバース型人工肩関節全置換術(※1)の術後成績について検討することを目的とした研究に利用します。

この研究で得られる成果は、リバース型人工肩関節置換術の臨床成績の向上や今後のインプラント選択や開発につながります。

※1 リバース型人工肩関節全置換術とは、変形した関節を金属やポリエチレンなどのインプラントで置き換える人工肩関節の一種を指します。腱板機能が保たれている症例に対しては、解剖学的人工肩関節全置換術が行われていますが、腱板機能が破綻している症例や腱板機能が著しく傷害されているリウマチ肩症例、高度に粉碎した骨折症例には、上腕骨と肩甲骨側のインプラントを逆にした人工関節を使用します。日本整形外科学会が作成したリバース型人工肩関節全置換術適正使用基準に則って手術を施行することが推奨されています。

### 【他機関への提供】

他機関への提供は行いません。

### 【研究に用いられる情報】

病歴、治療歴、副作用等の発生状況、画像評価(術前・術後の肩関節単純 X 線や単純 CT 画像)、及び診察時患者立脚型評価(アンケート)を用います。

研究に利用する情報は、患者さんのお名前、住所など、個人を特定できる情報は削除して管理します。また、今回の研究で得られた成果を、医学的な専門学会や専門雑誌等で報告することがありますが、個人を特定できる情報を報告・公開することはありません。

### 【情報の利用または提供を開始する予定日】

2025 年 2 月より利用を開始します

### 【情報の取得方法】

対象者: 2014 年 6 月～2024 年 6 月までに東邦大学医療センター大橋病院

整形外科において、リバース型人工肩関節全置換術を受け、術後の定期診察をしている方(約 188 人を対象としています。)

方法: 2014 年 6 月 1 日～2024 年 12 月 31 日までの診療録からさまざまな情報を抽出し、そのデータを集めて解析を行います。

### 【研究組織】

代表施設名: 東邦大学医療センター大橋病院 研究代表者: 池上 博泰 役職: 教授

**【利用する者の範囲】**

東邦大学医療センター大橋病院

**【情報の管理について責任を有する者の名称】**

東邦大学医療センター大橋病院

本研究に関してご質問のある方、試料や情報を研究に利用することを承諾されない方は、2025年3月31日までに(過去に採取した既存試料を利用する場合)下記へご連絡下さい。申し出のあった方の試料・情報は、利用を行いません。その場合でも、患者様に不利益になることはありません。

**【連絡先および担当者】**

東邦大学医療センター大橋病院 整形外科

職位・氏名 教授・池上 博泰

電話 03-3468-1251 内線 2032